

「安全な原発はない」

憲法記念日の集いに300余名 元原発技術者が語る

伊那民報

発行
日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
有線も(72)2465



会場いっぱいの参加者を前に講演する小倉志郎さん

「原発と平和について考える憲法記念日の集い」が、5月3日、JA上伊那本所で開かれ、技術者として関わった小倉志郎さんが「原発技術者からみた憲法9条・安全な原発はありえない」と題して、原発を再稼働させる危険性を明かしました。小倉さんは現在、脱原発の立場から発言を続けています。原子力発電の仕組みや内部被曝、外部被曝の違いと同時に核燃料が国民の「平和や生存権」を脅かしていることを詳しく解説しました。

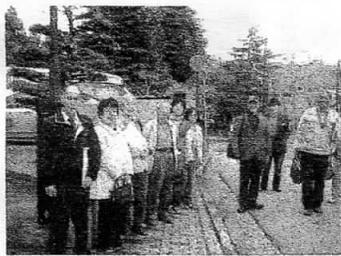
講演後、参加者から「原発労働者は何人いるか」「原発を作ったメーカーの責任は」などの質問が出されました。

「集い」の代表者の竹入弘元さんは「平和で健康的な社会を未来に残すため、エネルギー問題は避けられない。さらにみんな考えていきたい」と語っていました。

テレビドラマの裁判では、いつも正義が勝つてすかつとしますよね。しかし、現実はいくつもあるとはいきません。長野地裁では、NEC問題の第3回裁判が5月18日におこなわれ、主に裁判の争点や証拠の整理がされました。毎回、マイクロバスで傍聴者に乗せて、正味5分間の裁判のために往復6時間かけて出かれます。松村・木島両弁護士が、私たちの気持ちを

NEC住民訴訟審理入り 次回(第4回)裁判、7月12日

「準備書面」(告訴の書面)に盛り込んでくださり、白鳥市長やその顧問弁護士谷川氏に鋭く切り込みます。しかし残念なことに、まだ被告側との論戦はこれからです。でも、少しずつ、(次頁へ)



長野地裁入りする原告団

さよなら原発上伊那の会
2回目のデモ行進
日時:6月10日(日)10時から12時
場所:駒ヶ根市役所集合
主催:さよなら原発上伊那の会
連絡先:79-8702 (上伊那医療生協)

地蜂

先日、市内で開催された「憲法記念日の集い」に315人が詰めかけ原発と平和について考えた。講師は、小倉志郎氏。1941年生まれ、慶応大学大学院工学部卒業。東芝入社、35年間福島原発の設計・建設等に携わった現場の体験から、原発の危険性を語ってくれた▼福島原発の事故で放出された放射線の被害は計り知れない。地震列島日本に原発が54基、その膨大な核燃料の放射能は未来に生きる世代の「平和に生きる権利」を根底から脅かしている。原発は人知で制御できない▼原発には、テロ攻撃等、一旦攻撃されたら一溜りもない弱点が数多くあるが、ここでは言わない。悪用されると困るから。最近の戦闘では、レーダーでも捕捉できない低空攻撃等もあり、原発を抱えて戦争はできない。平和のためには国際的信頼関係を築く以外にない▼2009年5月3日高校退職教職員の有志が「私たちは平和憲法の改悪に反対し9条を守ります」の意志を110名にのぼる賛同で新聞に表明した。そして、「9条を守るアピール採択のつどい」を50名ほどで開催。昨年は、義務教育・大学の退職教職員が加わり発展。今年からは、さらに一般の人々も加わってもらい、この趣旨が全国民に浸透するよう願った集いとした。(上)

17日

共産党一斉に街頭宣伝

衆院北陸信越ブロックの日本共産党は5月17日、総選挙勝利をめざし、藤野やすふみ比例候補と三沢よしお小選挙区候補らと、党支部員が一斉に街頭宣伝をしました。

早朝、市内四カ所で

伊那では、大萱交差点に

原発ゼロ、増税ノ



美簗新山入口での宣伝行動

(前頁より) 相手の出方が見えてきました。NECライティング社との土地購入の「合意」を白紙にさせた市の責任(「不法行為」||過失)を認めつつ、「時効3年」で逃げ切ろうとし、市議会で1000万円の「解決金」で「一件落着」としたことで、住民訴訟は「無効」にしようとする卑劣な作戦としか思えません。

私たちは、巨額(補助金を含め総額5億5000万円)の市民の血税を取り戻し、福祉や教育の充実に充てさせるために、最後まで頑張り抜く決意です。
次回裁判は、7月12日(木)午後2時です。ぜひ、ご理解とご支援、傍聴参加などに「ご協力をお願いします。」
(原告団副代表・野口俊邦)

6人、中央区交差点に7人、美簗新山入口交差点に5人、春近大橋153号線交差点に5人、4カ所23人が「ストップ消費税10%」「原発から撤退、今こそ決断を」などのプラスタやのぼりを掲げ、ハンドマイクや宣伝カーで呼びかけながら宣伝しました。これに、多くの人が車の窓を開け「頑張れ」の声援やクラクション、手振りで応えてくれました。
この行動に、大我進党上伊那地区委員長代理、前沢けい子・飯島光豊・柳川ひろみの各市議が先頭に立ちました。

多彩な催しに多数が参加



5月1日午前、「いなっせ」で第83回メーデー伊那中央大会に250人が参加。集会后、伊那北駅までデモ行進をしました。写真はプラカードコンテスト

原水爆禁止世界大会にあなたも一緒に参加しませんか

昨年の大会は、再び被爆者を生じさせてしまった後悔と新たな運動の誓いが強く反映されました。そんななか、小森陽一氏は、青年の運動と世代を越えた連帯の必要性を訴えていました。というわけで、GFP(Go For Peace)上伊那の原水禁ツアーに親子割引を導入!
被爆者の生の声を聞く機会が年々減っています。今年は、まだ聞くチャンスがあります。修学旅行で広島・長崎を

5月19日、Talk&Live「うみんちゅ やまんちゅ ちむぐくる」
沖繩 信州 地域の問題の根っこを探る」
カクマカシヤカ(沖繩のミュージシャン)さんのライブと曾我逸郎中川村長とのトークもありました。



2004年の沖繩国際大学への米軍ヘリ墜落事故で初めて沖繩の異常さについて考え始めたというシヤカさん(写真右)。若者らしい問題提起をたくさんしてくれました。

訪れる学校が減っているいま、この機会にぜひ、皆さんも、お子さんやお孫さんと一緒に参加してみませんか。
今年の世界大会は、広島です。体力に自信のないあなたでも大丈夫!(長崎よりは)。皆様の「ご参加をお待ちしております」。
日程 出発8月3日(金)夜
帰宅8月6日(月)夜
参加費 一般2万円、大学生・高校生1万5千円、中学生以下1万円(交通費・大会参加費・宿泊費含む。食費は各自別途負担)
参加申し込み 有坂
(090-6037-0797)
(miki26@astatel.net)

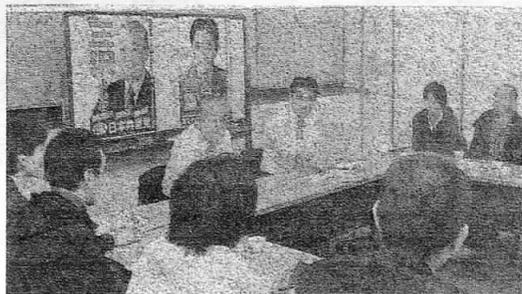
「藤野やすふみ東奈西走記」

上伊那青年のつどい

5月10日

三沢さんの訴えのあと、私から、自己紹介もしつつ、今こそ政治の転換をと訴えました。若者からは、「自然エネルギーで雇用を増やすというけど、具体的には?」「共産党の名前の本来の意味は、元祖きずなという感では?」「保守や無党派層の人と、どんな対話をしているの?」「福島に行ってきた。ガレキの問題どう考えたらい?」「中小企業で得意分野は?」など、たくさんの質問をいただき、答えながら交流させていただきました。

短い時間でしたが、いろんな示唆をいただきました。仕事で疲れたところ集まっていたいただき、本当にありがとございました。
(藤野やすふみ比例候補のブログより)



青年と懇談する藤野さん (正面右)

窓の市議

ブログ時々更新中 医療費の相談増える

柳川ひろみ

ホームページもありですが、更新がなかなかできないので、日々の議会活動などをブログに綴っています。携帯電話でもパソコンでも「柳川ひろみ」で検索すると見ることができます。けっこう色々な方が見えています。

市議団だよりに載らない小さな話も載せています。感想をお寄せください。

最近、「病院に入院中だが医療費や差額ベッド代が払えない」「手術が必要だが入院費が払えないが、どうしたらよいか」という相談が増えています。国保の自己負担減免制度などを紹介しています。ご相談ください。



昭和初期の上伊那

2・4事件の頃

〈6〉

再び四・一六の大弾圧が

このような動きを政府・内務省は黙って見過ごすわけがありません。一九二九年(昭和四年)四月十一日、内務省は「四月十六日、一斉検挙」の指令を全国に発します。この一斉弾圧で逮捕された者は全国で約300名で、その後も共産党中央委員の市川正一らの検挙が続き総数約千名に上りました。

長野県においても四月十六日、午前五時を期して県下を十二方面に分けて特高課員を中心に警察官を配置して一斉検挙を行ないました。

特高の言葉によれば

「検束は必要最小限」の二十名にとどめ、予審にまわされたもの十五名、正式公判に付された者十四名、実刑判決を受けたもの下伊那郡鼎村の鷺見京一、同喬木村の市瀬次郎ら八名、執行猶予が六名でした。長野



共産党中央委員
市川 正一
(1945. 3. 15 獄死)

ほとんど壊滅に陥り、再びたつことができず致命的打撃をこうむり」と書いています。

それでも人民の闘いは進む

長野県下の共産党と労働者農民は特高の執拗な弾圧にもめげず、次から次へと立ち上がって、各分野の運動を進展させていきます。日本共産党長野地方委員会準備会が発足し、共産主義青年同盟は三地区にでき、上伊那にもシンパ組織が生まれます。全協は繊維、交通運輸、通信、出版、土建の各産別組織ができ、それぞれの組合の各地区組織を統括する産別協議会も発足しました。そのほかに反帝

国主義同盟(侵略戦争に反対する反戦平和の組織) 赤色救援会(弾圧犠牲者とその家族を救援する組織)、全国農民組合(全云派の農民組合、教育関係では全協) 一般使用人組合教育労働対策長野支部、コップ新興教育同盟長野支部などです。
(境区 有賀光良)

【全云派】

全国農民組合の中で、階級的な運動への前進を主張した全国会議派のことで長野県全農は組織ごと加入。

【コップ】

日本プロレタリア文化連盟の略称
1931年10月に結成された文化運動の統一的中央組織。

伊那谷の歴史散歩

これは社会主義者・左翼は「壊滅的打撃を受けた」と必ず記録してきたが、今回の四・一六事件についても「県下の左翼陣営は

随想

真昼の検証

上の原 北原 栄一

一昨年10月2日午前5時10分、上の原の男性が散歩中に前原で轢かれて死亡した。数日後、警察、安協等関係者で現場検証がなされたという記事が出ていた。交差点の標識が電柱で隠れて見えにくかったという。いや違う、私は検証の視点が間違っていると感じた。そこは、私がその時刻、年に数十回も通っているところだ。

現場は、半年前に左右2個の明るいLEDの押しボタン信号機が設置された所から50mほどの交差点であった。加害車はあの時間には真つ暗の中で眩しいほどの信号機をめざして走っていた。よもや信号機の手前に交差点があるとは思ってもしなかったことだろう。あの信号機さえなかったらこの交通事故は起きなかったかも知れない。若宮からの交差点に横断歩道と信号機を設置すれば良かったのではないかと思う。

29年前、竜東線で3人の保育園児が黄色の点滅信号機で横断して1人が轢かれるという事故があった。そこは東小入口の信号機から40mほど北寄り、黄色点滅信号機はこの事故の後撤去された。

信号機は便利なものである。しかし設置する場所がよくよく検討しなければならない。検証は事故があった時刻にしなければならぬ。検証は事故が起きた場所、この場所に茶色の塗装をしただけで対策は終わっている。信号機を減らし、交差点にナトリウム灯などで照明をする対策が欲しいところだ。

催し案内

- ★北陸信越ブロック後援会交流集会
 - ・6月2日(土) 於：上越市
 - ・バス 伊那市役所前 7:30 発
 - 帰りは午後8時半頃
 - ・交通費：2500円(昼食は各自用意)
 - ・連絡先：党地区事務所(72-2465)
- ★栄村に学ぶ 震災後の暮らし
 - ・6月4日(月) 午前7:50
 - 市役所西側駐車場集合
 - 17:30解散(予定)
 - ・参加費 4000円
 - (昼食代・高橋まゆみ人形館入場料含む)
 - ・主催：のぞみの会
 - 連絡先：74-5826(井口)
- ★「さよなら原発・2回目のデモ行進」
 - ・6月10日(日) 10時~12時
 - 駒ヶ根市役所前集合
 - 詳細は1面に
- ★さわやかウォーキング
 - ・6月12日(火) 午前9:50集合
 - 伊那市西春近 深妙寺(あじさい寺)
 - ・主催：上伊那医療生協健康づくり委
 - お問合せ 79-8702(組合員センター)
- ★6.23国民大集会
 - ・6月23日(土)
 - ・東京明治公園
 - ・上伊那から大型バスが出ます
 - ・主催：集会実行委員会
 - お問合せ 73-3858(地区労連)

絵手紙

東春近 渡辺佐智子



お便り、情報、原稿をお待ちしています。
 どんなことでも結構です。発行元まで
 お寄せください。(編集部)